



## Report 2 山と森をとことん知る一日 ひろしま「山の日」県民の集い

ひろしま「山の日」県民の集いが6月2日、県内11会場で開催されました。

広島県が主催するこのイベントは、私たちの身近な森林への関心を持ってもらおうと開催されているもので、今年で12回目になります。

この日、庄原会場となった「板橋さとやまの森」はあいにくの雨となり、予定されていた板橋一心太鼓は中止となりましたが、木材を使ってマスコット作りを行う森のクラフト教室やポニーの乗馬体験、自生植物の自然観察会や炭だし体験などの多彩なプログラムが行われ、参加者は山や森の大切さを感じながら、楽しんでいました。

なお、板橋さとやまの森は、ひろしまの森づくり県民税によって整備されており、開催費用も一部この県民税が活用されています。



▲クラフト教室の様子

## Report 3 地域の心一つに熱戦展開 年に1度の「口和体育祭」



▲ボール運びレース

口和自治振興区が主催する第8回庄原市口和体育祭が6月16日、口和総合運動公園で行われました。

朝から強い日差しが照りつける中、町内8地区から約650人が参加し、9種目を競いました。

すべての種目で各地区から男女が出場するプログラムが生まれ、1種目目から白熱の競技が展開されました。小中学生リレーや〇×ゲームなど子どもたちが出場する種目には、ひととき大きな声援が飛んでいました。

最終種目の地区対抗リレーでは、手に汗握る展開に会場がヒートアップ。この日一番の声援が飛び交っていました。

## Report 4 訪れたい「道の駅」へノウハウを学ぶ 道の駅産直講演会が開催

今年4月にオープンした「道の駅たかの」の直売所を、より魅力のある売り場にするを目的にした「道の駅産直講演会」が6月24日、高野支所で開催されました。

この講演会に、道の駅出荷者協議会の会員など約100人が参加。

「九州のムラ市場」や九州各地の直売所を支援してきた中野幸浩さんから、農産物や加工品がどのようにしたら売れるのか、またリピーターを増やすコツなど、人気の直売所となるための販売ノウハウを学びました。

講演を聞いた手芸品を出荷しているという女性は「この講演会で学んだことを生かし、道の駅へ商品をたくさん出していきたい」と意気込んでいました。



▲中野さんの話を熱心に聴く参加者

市内のイベントやまちの話題をお届けします。  
身近でホットな情報をお寄せください。  
情報政策課広報広聴係  
☎ 0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

## Report 1 挑戦者の熱き思いに触れる 県政知事懇談「湯崎英彦の地域の宝チャレンジ・トーク」



湯崎英彦広島県知事

広島県知事が県内市町を訪問し、地域で挑戦している人の話を聞き意見交換などを行う、県政知事懇談「湯崎英彦の地域の宝チャレンジ・トーク」が6月8日、庄原市を会場に開催されました。

湯崎知事は午前中、建設業から参入して夏秋イチゴ栽培に取り組んでいる(株)ひばごんファーム(西城)を訪れ、イチゴの栽培現場を視察。その後、灰塚ダムへ

移動し、田総川漁業協同組合(総領)が試験的に取り組んでいる稚アユの採捕・放流を視察し、それぞれ取り組み内容や現状、今後の課題や目標などについて意見を交わしました。

午後からは庄原市ふれあいセンターに会場を移し、地域住民による事例発表と意見交換を行う懇談会が行われました。



福元奈津さん

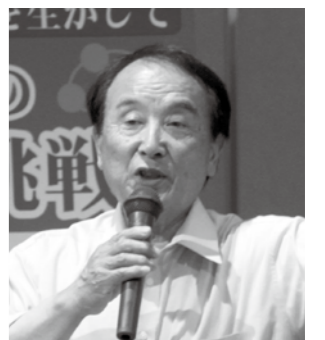
会場を埋める160人が来場する中、福島県いわき市から口和町へ移住し酪農を営んでいる福元奈津さん、竹パウダーを活用したコメ作りに取り組んでいる山内自治振興区の事務局長実安裕美さん、生徒会を中心に「東城応援隊」を結成しボランティア活動をして



▲ひばごんファーム田盛健治代表取締役(左)から説明を受ける湯崎知事

いる東城高校2年の赤木琴絵さんと三上由貴さん、比和伝統の牛供養田植の伝承活動などに取り組んでいる比和中学校3年の井西みきさん、石川千尋さん、小田恵里さん、陶山歩海さん、森繁かすみさんの計4組が、それぞれの挑戦を約10分間ずつ発表しました。

全体を通して湯崎知事は「今日発表された皆さんは人任せにするのではなく、自分たちで何ができるかを考えて、できることを少しずつ取り組まれているところが素晴らしい。この機会を契機に、皆さんのように一人一人ができることをやってみようという和が広がっていくことを期待している」と話していました。



実安裕美さん



赤木琴絵さん

三上由貴さん



陶山歩海さん

石川千尋さん

森繁かすみさん

小田恵里さん

井西みきさん



## Report 8 多くの来場者とともに登山者の安全を祈願 比婆山・道後山山開き

神話の里くまの自治会と西城町観光協会が主催する「比婆山山開き」が5月26日、竜王山駐車場で行われました。

この日は子ども連れの家族や夏山登山の登山客のほか、備北商工会と交流がある佐伯区五日市からも約40人が訪れ、合わせて約600人の来場者でにぎわいました。

安全祈願の神事から始まり、神話の里くまの自治会の田植え踊り、西城川子ども太鼓の演奏、西城町神楽愛好会による奉納神楽の後、大黒さまの福餅まきで締めくくりました。

来場者は120食用意されたバーベキューセットを囲んだり、ゴギの塩焼きや押花せんべいなどの地元産品を食したりしながら、楽しいひと時を過ごしました。



▲神話の里くまの自治会による田植え踊り (比婆山山開き)

また、6月16日には三坂住民会と西城町観光協会主催による道後山山開き・つつじ祭りが開催され、登山客を含め市内外から約500人が来場。会場の月見ヶ丘は新緑が映え、鮮やかに咲いたヤマツツジが来場者を出迎えました。

催事は、安全祈願神事、三坂住民会女性会による民謡と続き、西城川太鼓が迫力の演奏を披露。登山者が足を止めて見入る姿も多くみられました。

府中市から訪れた男性は「道後山や比婆山は初心者でも登りやすいので何度も訪れている。山開きは欠かさず来ていて、今回も楽しみにやってきました」と笑顔で話していました。



▲西城川太鼓が山腹に響き渡る (道後山山開き)

## Report 9 受診の仕方や対処法を学ぶ 小児医療学習会



▲講演する西山医師

庄原の小児医療を考えるひだまりの会が主催する「小児医療学習会」が6月13日、庄原市ふれあいセンターで行われました。

本年度第1回目となるこの学習会に、子育て中の女性33人が参加しました。

この日は、広島市の西山皮膚科アレルギー科院長の西山成寿医師が、「親子で楽しくスキンケア」と題し講演。西山医師は、子どもの皮膚疾患に対する対処方について、症状を見分けるポイントや治療の受け方、予防法などをやさしい語り口で説明。参加者はうなずきながら真剣に耳を傾けていました。学習会後には西山医師を囲んでの懇親会が行われ、おやつを食べながらの和やかな雰囲気の中、子どもの

皮膚疾患に関する不安や悩みを尋ねていました。

これまで数回参加したことがあるという女性は「前回、病院での受診の仕方を教わりとても役立った。今回も今話題のマダニの話もあり、新たな情報も得られるので今後も参加していきたい」と話していました。



▲西山医師を囲んでの懇親会

## Report 5 山間に響く田植え唄 伝統の布見作業田植え

地域の伝統芸能を後世へ引き継いでいくことを目的に開催される布見作業田植えが5月18日、比和町の布見地域で開催され、約200人の観光客が伝統的な田植え行事を見物しました。

布見作業田植えは、軽快なリズムと独特の歌詞の田植え唄が特徴で、かつて比和地域を訪れた芸術家岡本太郎も、この作業田植えの風景に感銘を受けたといわれています。

この日は2頭の牛が代かきを行った後、県立広島大学の学生など約30人の早乙女が田んぼへ入り、田植えを行いました。田んぼへ入るのが初めての学生も地元の先輩早乙女から指導を受けながら、伝統の田植え行事を体験。「庄原ならではの体験ができた。今後の勉強

に生かしたい」と、貴重な体験に満足そうに笑顔で答えていました。



▲丁寧に苗を植えていく早乙女たち

## Report 6 言葉と文化を越えて交流を深める 東城高と台湾の生徒が初交流

台湾の新北市立三民高級中学の生徒21人が5月16日、東城高校を訪れ、東城高の生徒97人と交流を深めました。



▲歌を披露する台湾三民高級中の生徒

両校は今年1月、姉妹校提携を結んでいて、今回が初めての交流となります。

歓迎会では東城高生徒会長の石岡舞子さん(3年)が英語で歓迎のスピーチを行い、三民高級中の生徒は英語と流ちょうな日本語で「皆さんと仲良くなりたい」とスピーチしました。

その後、東城高の女子生徒約40人が「よさこいソーラン節」を披露し、三民高級中の生徒は日本でもなじみある曲を歌いダンスを披露しました。

歓迎会のあとは、東城高の生徒が「三楽荘」など東城町内を案内しました。

案内役の生徒は「言葉を伝えるのはなかなか難しいけど、友だちになりたい」と笑顔で話していました。

## Report 7 ホタルを誘うやさしい音色 ほたる見コンサート

ホタルが舞う時季に合わせ毎年行われている「ほたる見コンサート」が6月21日、総領保育所で開催され、園児や保護者など約100人が来場しました。

今年は、三次市吉舎町在住の野曾原静さん、海里さん親子を招いての、バイオリンとピアノによる演奏が行われました。二人は「星に願いを」などホタルを誘うようなゆったりとした曲を中心に5曲を披露。園児たちは時折メロディーに合わせて手拍子したり一緒に歌ったりして、演奏を楽しみました。

コンサート終了後には、みんなでフォトフレーム作りに挑戦。自宅から持ってきた写真に合うように、親子で協力して作成しました。

この日は、あいにくの雨でホタルを見ることはでき

ませんでした。やさしい音色に包まれた会場で、楽しいひと時を過ごしていました。



▲コンサートの様子